

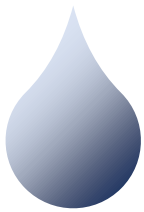
「未来へのシナリオ」
第2次高島市総合計画

2017～2026年度
(平成29～平成38年度)

－ 概要版 －



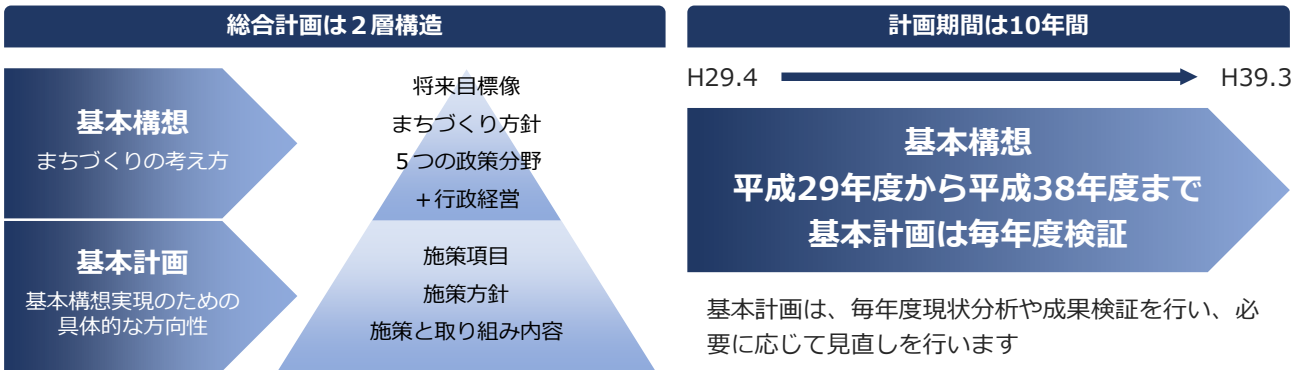
高島市



基本構想

将来目標像「水と緑 人のいきかう 高島市」に向けて

総合計画は、高島市にとって自治体の運営指針となる最も重要な計画です。言わば「未来へのシナリオ」。第1次計画が平成28年度で終了することから、第2次計画を策定しました。



第2次計画の特徴

人口構造の変化に対応

平成27年10月に策定した「高島市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の人口目標値である**47,000人**を平成38年度の人口フレームとして計画を策定します。

市民協働の視点を記載

市民ワークショップなどの提案・意見を、個人や地域でできることを、施策項目に記載

めざす姿を指標化

進捗状況を毎年度評価するため、めざす姿を指標として記載

政策間連携を記載

投資する資源を有効活用し、庁内連携を推進するため、政策間連携の視点を記載

10年間のまちづくり方針と政策分野

高島の「恵み」と「誇り」を最大化!!

—住みたい、住み続けたいまちの実現—

社会のあり方が変化する今後10年間、高島市の魅力である水と緑を守り、その生活から生まれる恵みを大切にしながら、高島市に誇りが持てるまちづくりを進めるとともに、高島市の「たからもの」を最大化することで、住みたい、住み続けたいまちを実現します。

かもす 産業・経済

にぎわいや潤いが
「かもし」出されるまちづくり

あゆむ 子育て・教育

誕生から高齢期まで人生を
「あゆみ」たくなるまちづくり

つむぐ 健康・福祉

わけへだてなくつながりを
「つむぎ」あえるまちづくり

せせらく 暮らし・文化

安心がいきわたる「せせらぎ」
を感じるまちづくり

ささえる 生活基盤

都市機能を維持し生活基盤を
「ささえる」まちづくり

こころざす 行政経営

責任を持って計画を実現する
「こころざし」の行政経営

かもす 産業・経済

にぎわいやうるおいが「かもし」出されるまちづくり



「みんなにここに楽しい町」はこぶね保育園4歳児／梅野冴花さん

日本の伝統でもあり、高島市の豊富な水環境や湿潤な気候が育んだと言える発酵食文化。

産業・経済分野におけるまちづくりは、熟成により旨味が増す「発酵」に例えました。

高島市の魅力を活かして、地域経済に賑わいや潤いを醸し出すまちづくりに取り組みます。

雇用を確保するとともに担い手を育成します

10年前と比べて市内の事業所数やそこで働く従業員数は減少するとともに、若年層の転出超過に改善が見られません。市民アンケートでは、一般・高校とも住み続けるために必要なことが「地元での雇用」が最多でした。このことから、雇用の確保と担い手の育成に取り組みます。

企業支援や産業連携を推進し雇用を確保します

- ①経営基盤の支援、②産業連携の推進、③創業支援の推進、④企業誘致の推進

農業の担い手を育成し農地の維持に努めます

- ①農業用施設の維持、②農地の保全、③農地集積による経営安定化、④新規就農者の育成

林業・水産業・畜産業の担い手を育成します

- ①業種連携による林業振興、②水産業の経営安定化、③耕種農家の連携による畜産振興

高島ブランドを育成・発信します

誰もが感じる高島市の魅力「自然とその暮らし」。しかし、この自然環境は暮らしが営まれているから成り立つものです。また、扇骨や高島ちぢみなどの伝統的な地場産業については日本の宝として、未来へ引き継ぐ必要があります。魅力的なものづくりと積極的なPRを推進することで、高島ブランドの育成に取り組みます。

地場産業の魅力をさらに高めます

- ①新商品開発等への支援、②国内・海外販路拡大への支援

自然の恵みの魅力をさらに高めます

- ①農産物の生産拡大、②林産品の魅力向上、③水産品の利用促進

「発酵」を活かしたオリジナルブランドを育成します

- ①発酵研究の推進、②発酵を活かした新商品開発

観光で国内・海外に「高島」を伝えます

重要文化的景観に全国唯一同じ自治体から3か所が選定されるとともに、白鬚神社、シコブチ信仰とともに日本遺産の構成文化財として選ばれました。また全国から選定されるさまざまな百選に15か所が選ばれています。高島市の観光資源が持つ力はとても高く、自然と暮らし、食や人の魅力を掛け合わせた観光振興に取り組みます。

豊かな自然や恵みを活かした観光を推進します

- ①観光プログラムの充実、②周遊性の向上、③自然と食を活かした魅力向上

高島の魅力を国内・海外に発信します

- ①情報発信の強化、②海外向けの情報発信、③国際理解の推進、④スポーツイベントの誘致・開催

あゆむ 子育て・教育

誕生から高齢期まで人生を「あゆみ」たくなるまちづくり



「おともだちといっしょ うれしいな」なのはな園5歳児/平井結月さん

人生はよく道に例えられます。人はそれぞれの道をあゆみ、また新しい命が生まれ、やがてはその世代がまた道をあゆみはじめます。

子育て・教育分野におけるまちづくりは、人生を「道」に例えました。

高島市で生まれた、また高島市を選んだ人々が、このまちで人生をあゆみたくなるまちづくりに取り組みます。

魅力ある子育て・教育環境を整えます

出生数が伸び悩む中、人口減少の中にあっても将来の人口バランスの安定化を図るためには、一定の出生数を維持していくことが必要です。また、子育て環境の魅力化は、子育て世代の定住・移住に直結することから、自然環境とあわせた子育て支援の充実を図る必要があります。このことから、子育て世代の満足度をさらに高めるとともに、仕事との両立や子育てに関する不安解消を図る体制整備に取り組みます。

郷土愛と誇りを育むひとづくりを推進します

高島市は転出超過傾向が続いており、大学等へ進学するために市外に転出した人が、再び転入していない状況が推察されます。希望する雇用の場を確保するとともに、地域への愛着形成を図り、高島市で活躍したいと願う人材の育成を行う必要があります。乳幼児保育・教育から小学校、中学校、高等学校、社会教育までが相互に連携し、郷土に愛着を持つ青少年や地域人材の育成に取り組みます。

結婚や出産の希望が叶う支援体制を整えます

- ①総合相談による子育て支援、②妊娠・出産への経済的な支援、③子ども医療費助成、④妊娠期からの切れ目ない見守り

自然や人とのふれあいによる保育・教育を推進します

- ①乳幼児保育・教育共通カリキュラムの推進、②高島の恵みを活用した食育推進、③地域支援体制の構築

生きる力を育む乳幼児保育・教育環境を整えます

- ①安全で質の高い乳幼児保育・教育、②保育サービスの多様化、③子育てに対する経済的負担の軽減

地域の魅力が学べる小学校・中学校教育を推進します

- ①小中一貫教育の推進、②ICT環境の充実、③地域に根ざした教育による愛着形成、④高島産食材による学校給食

家庭の姿に寄り添う子育て支援を行います

- ①仕事と育児が両立できる子育て環境、②障がい児とその家庭への支援、③児童虐待の未然防止・早期発見

地域全体で青少年を育む体制を整えます

- ①家庭の教育力の向上、②地域連携による部活動の支援、③青少年活動への地域連携、④高校と連携したキャリア教育

安全・安心で快適な学校教育環境を整えます

- ①安全快適な学校施設の整備、②いじめの未然防止③多様な教育的ニーズへの対応、④不登校児やその家庭への支援

地域を知り地域に学ぶ機会をつくります

- ①歴史から学ぶ郷土愛の育成、②先人から学ぶ心の教育、③主体性のある地域人材の育成、④ニーズに応える図書館運営

つむぐ 健康・福祉

わけへだてなくつながりを「つむぎ」あえるまちづくり



「ほしぞら かんさつかい」 新旭南小学校1年 / 西川心さん

繊維を引き出し糸にすることを「つむぐ」と言います。高島では古くから撚糸業が営まれ、繊維産業が発展してきました。

健康・福祉のまちづくりは、糸によりをかける「撚糸」の様子に例えました。

人と人が支え合い、誰もがわけへだてなく心と心を「つむぎ」あえるまちづくりに取り組みます。

健康でいきいき暮らせる地域をつくりま す

高島市における年齢区分別の人口推計では、平成37年ごろに65歳以上人口が最大を迎えるとされており、64歳以下人口の減少により、高齢化率の上昇はさらに続くと予想されています。子どもや現役世代の健康づくりはもちろん、高齢者の健康維持や経験を活かした生きがいつくり、活躍の場づくりとあわせ、障がいに対する理解の促進を図り、誰もが自分の地域で自分らしくいきいきと暮らせるまちづくりに取り組みます。

スポーツによる健康づくりを推進します

- ①スポーツ団体の支援、②身近なスポーツ機会の提供、③競技スポーツの振興、④運動習慣づくりの啓発

生活習慣の改善や健康チェックの機会を提供します

- ①高島産食材や発酵食品を活用した食育、②検診によるがん死亡率の減少、③健診による健康づくり、④生活習慣の改善

生きがいを持って高齢期が過ごせる環境を整えます

- ①介護予防の推進、②高齢期の生きがいつくり、③居場所づくりによる社会参加の促進

障がいへの理解を深め暮らしを支える環境を整えます

- ①障がいへの理解促進、②障がい者雇用の促進、③誰もが主体になれる地域社会の構築

もしもの時に備える体制を整えます

人口構造の変化は、要介護認定率の増加傾向、高齢者の二人暮らし世帯や単身世帯の増加傾向にも表れています。また、非課税世帯や生活保護世帯も増加しています。今後は、介護サービスそのものの充実に加え、労働環境の改善などを働きかけるとともに、地域での見守りを強化する必要があります。生きづらさや困りごとを抱えたときに、気軽に相談できて必要なサービスにつなげられる体制づくりに取り組みます。

支援が必要になった時に相談できる体制を整えます

- ①全世代・全対象型地域包括支援体制の構築、②医療機関と地域包括支援との連携、③生活困窮者への支援、④困難を有する子ども若者への支援

いつまでも地域で暮らせる体制を整えます

- ①生活支援サービスの提供、②仕事と子育てが両立できる介護支援、③質の高い介護サービスの提供、④高齢者虐待の未然防止

保健や福祉と連携した医療サービスを提供します

- ①地域完結型の医療サービス、②在宅療養体制の構築、③救急医療情報の提供、④安定した病院経営

せせらぐ暮らし・文化

安心がいきわたる「せせらぎ」を感じるまちづくり



「みらいのたのしいわたしの家」本庄小学校2年/近藤さくらさん

山々に降り注いだ雨や雪は、川となって大地を潤し、または地下に浸透し、やがて大きな流れとなってびわ湖に注ぎこみます。市内にはいたるところに小川が流れ、まちのすみずみまで恵みの水がいきわたっています。

暮らし・文化のまちづくりは、この豊かな「水」に例えました。

安心がまちのすみずみまでいきわたり、穏やかな暮らしの中で「せせらぎ」を感じることができるまちづくりに取り組みます。

誰もが住みたくなる生活環境を整えます

大きな人口構造の変化に目を向けて、持続可能な地域社会をつくる必要があります。移住・定住の推進を図るとともに、人口規模に見合った自治の仕組みに再構築し、人口が少なくなっても維持できる地域づくりに取り組む必要があります。意欲を持って暮らせる環境をつくるため、地域自治のあり方や暮らしたいと思う生活環境づくりについて、地域ぐるみで考えるまちづくりに取り組みます。

暮らしの安心を守る環境を整えます

空き地や空き家が増えていると感じている人が多くなっており、適切な管理を推進する必要があります。防犯面では特殊詐欺などの手口が巧妙化するとともに、スマートフォンなどの普及により、青少年が犯罪に巻き込まれる事例が後を絶ちません。交通面では高齢者の関係する事故が増加傾向にあります。このことから、暮らしの安心が実感できるまちづくりに取り組みます。

住民自治の新たな仕組みを構築します

①自治基盤の維持・強化、②広域自治組織の設立、③市民協働の推進、④定住・移住への支援

災害に強い体制を整えます

①地域の防災力の向上、②防災資機材の整備、③質の高い消防・救急救助活動、④住宅の耐震化の推進

人格と個性が尊重される地域社会をつくります

①人権意識の向上、②女性が暮らしやすい社会づくり、③男女共同による子育ての推進、④共生社会づくり

高島らしさのある住環境を守ります

①空き家の適正管理、②自然に配慮した生活意識の向上

文化による人や地域のつながりづくりを推進します

①地域の特色ある文化振興、②市民の参画と協働による芸術文化の振興、③伝統行事や文化財の継承

地域ぐるみで安心が実感できる体制を整えます

①防犯対策の推進、②見守りによる子ども事故防止、③地域連携による交通事故の防止、④消費者保護の推進

「水」を大切にす生活環境を保全・継承します

①日本遺産や水辺景観の継承、②森林整備による災害の防止、③河川愛護と災害に強い河川整備、④水環境に配慮した農業の推進

ごみの減量をさらに推進します

①環境センターの安定運営、②ごみ減量の推進、③効率的な収集体制の構築

ささえる 生活基盤

都市機能を維持し生活基盤を「ささえる」まちづくり



「花いっぱいの高島」本庄小学校4年／秋永聖さん

普段何気なく利用しているもの。気に留めないけど確かにそこにあるもの。縁の下で建物を支える礎石のように、目立たないけれどそこにあるからこそ大切なものがあります。

生活基盤の分野においてはこの礎石のように、しっかりと都市の機能を維持し生活を支えるまちづくりに取り組みます。

安心で快適な暮らしの基盤を守ります

今後の土地利用やインフラの整備に関しては、人口減少にともなう地域の空洞化への対応や、高齢世帯の生活利便性への対応、定住や移住に伴う望ましい市街地形成のあり方など、検討すべき課題があります。高島市らしい自然環境や住環境を維持しながら、必要な基盤整備を進めるために、土地利用のあり方について市民が一体となった検討を進める必要があります。

安全で便利な公共交通・道路網を構築します

市民アンケート調査では、鉄道の利便性向上や道路の整備に対して高い期待が寄せられています。引き続き鉄道の利便性向上を強く働きかけるとともに、通学や通勤などの利用促進を図る必要があります。また、高齢世帯の病院や買い物といった生活圏内での移動手段を確保する必要があります。観光の2次アクセスなども考慮して公共交通のあり方を検討していく必要があります。

高島の魅力が活かせる土地利用を推進します

- ①土地利用のあり方検討、②都市計画マスタープランの推進、③都市機能の誘導

公共交通網の利便性向上を図ります

- ①鉄道の利便性向上、②公共交通の利便性向上

誰もが快適に暮らせる機能整備を推進します

- ①都市公園施設の魅力向上、②市営住宅の規模適正化

基幹道路や生活主要道路を整備・維持します

- ①国道・県道の整備要望、②生活主要道路の整備、③橋りょうの維持補修

地域の状況に応じた上下水道施設を整備します

- ①水の安定供給、②水環境を守る下水道事業

こころざす 行政経営

責任を持って計画を実現する「こころざし」の行政経営



高島市が生んだ近江聖人中江藤樹先生。藤樹先生は11歳のとき、「大学」という本を読み聖人たらんと立志されました。市内の小学3年生は立志祭を行い、将来の自分の姿について発表しています。この藤樹先生の教えに学び、高いこころざしを持って、総合計画を実現するための行政経営に取り組みます。

総合計画を確実に実現します

市民の総合計画に対する認知度が低く、市職員も理解度や活用度が低い状況があります。計画は作ってからがスタートという認識のもと、さまざまな市民参画の手法を用いて総合計画の実現をめざします。

自治体の持続性を確保します

地方交付税の縮減や人口減少にともなう財政規模の縮小など、行政経営を取り巻く環境は決して明るいとは言えません。だからこそ、総合計画の実現と行財政改革を一体で進め、持続可能な自治体をめざします。

市民協働により総合計画を推進します

①市民参加による計画の進行管理、②市政情報の発信、③行政評価の導入

行財政改革をさらに推進します

①健全な財政運営、②公共施設の再編、③遊休財産の売却

仕事にこころざしを持った人材を育成します

①効果的な研修の実施、②施策目標と連動した人事評価、③意欲が向上する組織体制の構築

新たな財源の確保と公平な負担を推進します

①ふるさと納税の推進、②収納率の向上

新たな枠組みによる行政サービスの維持を図ります

①多様な担い手による公的サービス充実、②広域連携の推進

- ◆ 第2次高島市総合計画は、無作為抽出による市民アンケート調査や中学生・高校生へのアンケート調査、無作為抽出による市民ワークショップ、団体へのヒアリングなど、たくさんの市民のみなさんの声をもとにして、市役所内のプロジェクトチームで計画案を作成しました。さらに、この案についてパブリックコメントにより広く意見を募り、総合計画策定審議会への諮問、答申を経て、議会の議決により策定したものです。
- ◆ 挿絵は、第8回たかしま子ども美術展特別テーマ「みらいのたかしま～わたしがおとなになったとき」に応募され、審査の結果「市長賞」を受賞されたみなさんの作品です。

お問い合わせ／高島市役所 政策部 企画調整課

〒520-1592 滋賀県高島市新旭町北畑565番地

TEL 0740-25-8114 FAX 0740-25-8101

E-mail kikaku@city.takashima.lg.jp